

令和元年9月2日現在

機関番号：17401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02685

研究課題名(和文) 清代中国語における全出現語彙の意味分類による計量言語学的研究

研究課題名(英文) Quantitative Linguistic Study on the Classification of Lexical Meanings of Chinese Vocabulary in Qing Dynasty

研究代表者

植田 均 (UEDA, HITOSHI)

熊本大学・大学院人文社会科学研究部(文)・教授

研究者番号：90176595

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：清代初期北方官話区域内の代表的資料、《醒世姻縁傳》における全出現語彙の意味分類による計量言語学的研究を行う。意味分類は、《現代漢語分類詞典》を基本にし、大分類が17種類、小分類が合計約4000種類に細分化する。これにより、「どの語彙が、どのように(意味)、どれだけ(数量)使用されているか」を明らかにする。この結果、目当ての語彙の使用状況が瞬時に判明できるのである。本研究は、近世中国語における国内外の初めての試みになる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで、中世、近世期における中国口語の歴史研究は、一つの作品に対して全出現語彙の意味分類および計量言語学的研究は皆無であった。本研究は、《醒世姻縁傳》において、どの語彙が、どのように(意味)、どれだけ(数量)使用されているかの状況が瞬時に判明できるだけでなく、清代語彙研究に基本材料を提供でき、近世中国語のコーパス構築のための第一歩となり得る研究であり、国内外の中国口語の歴史研究において学界初の試みとなる。

研究成果の概要(英文)：This quantitative linguistic study investigates the classification of all the words which represent standard official language in the northern China in early Qing Dynasty in Xingshi Yinyuan Zhuan. Based on the Modern Chinese Classification Dictionary, these words can be classified into 17 categories and about 4000 sub-categories in terms of their lexical meanings. Building on this, this study demonstrates what words are used as well as the lexical meanings and the exact frequency of these words. This study is significant to understand the usage of target vocabulary, and turns to a new page to study the modern Chinese language at home and abroad.

研究分野：中国語学

キーワード：全出現語彙の意味分類 虚詞・実詞 単語・フレーズ 方言 官話 意味の拡大・縮小・消失

## 1. 研究開始当初の背景

これまで国内外における中国口語の実詞研究は、一つの作品に対して「全出現語彙の意味分類」という網羅的研究をしておこなった。これは、口語音をそのまま文字化したので「当て字、異体字、方言土語など」が多く、解読に難があったからである。筆者は、20年前より《醒世姻縁傳》の語彙研究に取り組み、その成果として『《醒世姻縁傳》方言語彙辞典』（白帝社、386頁、2016年）を刊行した。これは、単に方言語彙のみ取り扱ったが、今では、「全出現語彙の意味分類と出現回数」の調査研究に突入するべき段階にきていると考えている。語彙収集・整理のノウハウを持つ筆者を中心に研究チームを編成し、取り組む。

## 2. 研究の目的

清代初期の代表的白話資料《醒世姻縁傳》、後期の代表資料《兒女英雄傳》を調査対象として、全出現語彙の「どの語彙が、どのように（意味）、どれだけ（出現回数）使用されているか」を一覧できるようにする。調査に付随して、以下の項目も明らかにする。

- (a) 同音語（読音が同一、または近似）の種類
- (b) 誤刻および当時の流行であった略字、異体字
- (c) 多義語の種類及びその語義縮小・拡大
- (d) 同義語や類義語の種類及び用法別の盛衰
- (e) 消失語の種類及びその盛衰
- (f) 複音節語の逆序語の種類及びその盛衰
- (g) 方言語彙の種類及びその盛衰
- (h) 書面語の種類及びその盛衰
- (i) 品詞の変化及びその盛衰

## 3. 研究の方法

本研究は、仕事量が膨大なため、研究分担者、研究協力者に協力を求め、役割分担を決め、研究チームとして体制を敷き、筆者が全体の管理運営を務め統括した。

最初の2年間で《醒世姻縁傳》の全出現語彙を収集し、意味分類及びPC入力を行う。3年目からは、意味分類後の語彙を再整理・修正する。意味分類は、A自然・時間、B生命・生物、C人体・医療、D人類・社会、E飲食・衣服・居住・財産、F感覚・行為・性格、G思想・言語、H農林業、I工業・科学技術、J行動・交通・運輸、K経済・商業・職業、L政治・法律・軍事、M教育・文化・芸術・体育、N宗教・民間信仰、O事情・情状、P物質・物体、Q数量・量詞の17種類である。これに各々下位分類として更に細かく分類する。このベースは、董大年主編《現代漢語分類詞典》（漢語大詞典出版社、1988年刊）であるが、この書は分類対象を現代中国語にしているため、近世中国語とは用法上に差異が見られ、細心の注意が必要となる。我々は、ネイティブ研究者を多く招き、十分議論したうえで、最終的に筆者が意味分類の帰属を判断した。

#### 4. 研究成果

近世中国語における意味分類語彙集は、国内外で初めての試みである。《醒世姻縁傳》において「どの語彙が、どのように、どれだけ使用されているか」が明らかになるというのは、目当ての語彙の使用状況が瞬時に判明できるのである。この至便性が学界や社会で理解されれば大変なインパクトを与えることになる。ただ、今はまだ理解されていない。理由は、本研究がようやく一段落ついたにすぎず、成果発表はまだこれから行うのが現状で、我々の今後の説明、アピールにかかってくる。

現代語を対象にした《現代漢語分類詞典》(漢語大詞典出版社、1988)を基準にしたため、我々の取り扱う近世語とは、多くが「同形異義語」であったり、また消失した死語であったりして、奇しくも「語彙の歴史的変遷」の観点で自然と導入できた。筆者が2018年秋の国際会議で研究成果の一部を報告したさい、出自が山東省の研究者が「清代初期の《醒世姻縁傳》の言語が現代でも方言として継承されている地域がある。是非現地調査に来てほしい」と要請を受けた。

2019年3月末に我々が研究成果の一部を公刊できたのは以下の3種類である。

- 一、『《醒世姻縁傳》意味分類滙積 ([F]部分)』(A4判 384頁)
- 一、『《醒世姻縁傳》意味分類滙積 ([O]部分)』(A4判 604頁)
- 一、『《醒世姻縁傳》意味分類・音序排列例積』(全4冊、A4判 1928頁)

今、ここで[F]部分の一部を掲示する。

小分類 日本語訳 《醒世姻縁傳》からの例文(収集した語彙・フレーズは下線を付す)  
(数字および a・b は順に章回数、葉数、a:オモテ、b:ウラ、行数を示す)

- F 感觉 気がつかない 薛如卞道:那神靈看的真,偕自家做的不覺(63.10a.2)  
強く感じる、ひどく思う 又要從新的釘,大覺費事哩(13.6a.3)  
生臭い欲心を起こす 果不然動了那二位鄉約的羶心,使人與他說道(34.7a.6)  
慕う心が動く 又看了這般大戰,又動了一个慕心,还<=還>沒等上陣交鋒,・・  
(73.6b.2)  
邪心を起こす 將你殺害他的原委備細對我告訴,說你若不是動了邪心(3.2a.6)  
猜疑心をかきたてる<=触犯> 素姐見他這等腔巴骨子,動了疑心(52.2a.3)  
(助ける)気になれない 宗光伯說:這先生待徒弟,也感不出叫人助來(41.8a.10)  
感じる<=感受;感到> 麥其心故意往<=往>袖裏摸了一摸,說道:方纔害熱,脫下了  
(22.15b.1)  
感じる<=觉得> 雖是口裡是這等強,心裡也未免幾分害怕,晁大舍又愈覺昏沉  
(2.6a.9)  
感じる<=觉得> 又說珍哥除夕三更方睡,五更夢中覺省,便覺頭疼(3.4a.6)  
感じる<=觉得> ・・那肚脹就似鬆了些的,又停了一會,又打了兩個嘔,更覺寬鬆了  
(4.13a.9)  
感じる<=觉得> 王振道:也就覺乏困的。說着閑話,一邊看着收拾(5.12b.1)

- 感じる 使快子夾着棉花,把滾水往上撩,他覺也沒覺(66.10b.3)
- 感じる 素姐 ,在床噯啣噯啣的捱哼。侯張兩個道:你覺好了(74.2b.3)
- 感じる、覚える 他道輕薄,沒有體面,更覺打凶,開口要千兩,實價定要八百兩,再看人情,五百兩是再不容少的了。(83.4a.10)
- 感じる 寄姐此時火氣也漸覺退去,撒潑的不甚兇狠,(87.10b.3)
- 感じる 一面叩謝衆人,一面號啕痛哭,嘔了兩聲,吐了一霍鮮血,便覺昏沉。(90.13b.4)
- 感じる 今日黎明時分,小僧已待起身,覺身不快,又復睡着,・(93.10a.2)
- 感じる 覺有冰冷的嘴在人嘴上一侵,又說皮狐身上甚是騷氣(92.13a.1)
- 感じる 白姑子又說睡中明明覺道有人雲雨,也覺道甚是快活(65.6a.9)
- 感じる 覺得公婆不甚喜歡(7.7a.4)
- 感じる 婆婆吃在肚內,覺得鮮美有味,開了胃口(52.10b.10)
- 感じる 想那角先生怎生放在裏面,三个入<=人>没有一个覺得的(65.6b.8)
- 感じる 覺的肚內稍稍寬空了(4.13b.1)
- 感じる 直到十五日飯時,才覺的肚子疼(47.6b.8)
- 感じる、思う 素姐罵來罵去,陳寔只不出頭,自也覺得沒有興趣,遂又罵到右鄰石鉅門口。(89.8b.7)
- 意識(が無い) ・・身上寒噤,到了半夜,發熱起來。如今不省人事,只發譫語(2.6b.5)
- 意識、知覚 ・・也還是喜歡,却又晁源漸覺減了病症,也省得人事了(17.9b.9)

(なお、調査研究が《兒女英雄傳》にまで到達できなかったのは、「全出現語彙」という膨大な量を対象とした点、そして、意味分類の仕分け作業、即ち、どの意味グループに所属するかに手間取った点があげられる。さらに、何よりも2016年熊本地震で壊滅的な影響を被ったからで、研究体制が整うまで相当の時間を要した。)

## 5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計4件)

植田均、《醒世姻緣傳》校注标点错字問題、中国語研究、査読有、第59号、2017、40-46  
(年1回刊行の学会誌)

植田均、《醒世姻緣傳》成書于明代还是清代? - 从语词特点来考察、中国語研究、査読有、60号、2018、1-12 (年1回刊行の学会誌)

木村裕章、中国語における目的語前置成分の属性と動詞の他動性について、東亜大学紀要、査読有、第24号、2017、17-30

木村裕章、《醒世姻緣傳》における動詞分類とその問題点について、東亜大学紀要、査読有、第26号、2018、13-27

[学会発表] (計 8 件)

植田均、<<醒世姻縁傳>>校注標点問題、第 17 回全国近代漢語国際學術討論会、中国・福建省・閩南師範大学、2016

植田均、《醒世姻縁傳》成書は明代还是清代? - 从語詞特点来考察、九州中国学会 平成 30 年度 第 66 回大会、福岡大学、2018

植田均、《醒世姻縁傳》成書は明代还是清代? - 从語詞特点来考察、第 11 届中古漢語国際學術研討会、中国・安徽大学、2018

植田均、关于近代汉语的詞义分类、日本中国語学会 2018 年度第 1 回九州支部例会、熊本大学、2018

植田均、关于《醒世姻縁傳》的語詞分类、第 18 届全国近代漢語學術研討会、中国・湖北大学、2018

木村裕章、中国語における目的語前置と動詞の他動性について、日本中国語学会九州支部例会、熊本大学、2016

木村裕章、《醒世姻縁傳》における語彙分類と問題点について 動詞の分類を中心に、九州中国学会 平成 30 年度 第 66 回大会、福岡大学、2018

木村裕章、中国語における目的語前置構造とその変遷について、日本中国語学会第 68 回全国大会、神戸市外国語大学、2018

[その他]

[翻訳・注釈] (計 6 件)

植田均、胡玉華、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>第 25 回訳注(其 2)、熊本大学文学部論叢、査読有、第 108 号、2017、71-91

植田均、胡玉華、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>第 30 回訳注(其 2)、熊本大学社会文化研究、査読有、第 15 号、2017、1-20

植田均、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>第 25 回訳注(其 3)、熊本大学文学部論叢、査読有、第 109 号、2018、41-60

植田均、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>第 30 回訳注(其 3)、熊本大学社会文化研究、査読有、第 16 号、2018、25-41

植田均、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>(第 25 回)訳注(其 4)、熊本大学文学部論叢、査読有、110 号、2019、57-74

植田均、石亮亮、王姝茵ほか、<<醒世姻縁傳>>(第 30 回)訳注(其 4)、熊本大学社会文化研究、査読有、17 号、2019、59-75

[報告書] (計 3 件)

植田均、木村裕章、《醒世姻縁傳》意味分類匯釋([F]部分)、熊本大学大学院社文研・文化学専攻中国語学研究室、2019、384

植田均、木村裕章、《醒世姻緣傳》意味分類匯釋([0]部分)、熊本大学大学院社文研・文化学  
専攻中国語学研究室、2019、605

植田均、木村裕章、《醒世姻緣傳》意味分類・音序排列例積、熊本大学大学院社文研・文化学  
専攻中国語学研究室、2019、1930(4分冊)

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名：木村裕章

ローマ字氏名：(KIMURA, hiroaki)

所属研究機関：東亜大学

部局名：人間科学部

職名：教授

研究者番号：70330719

### (2) 研究協力者

研究協力者氏名：石亮亮

ローマ字氏名：(SEKI, ryouyou)

研究協力者氏名：王姝茵

ローマ字氏名：(OU, shuin)

研究協力者氏名：王瑶

ローマ字氏名：(OU, you)

研究協力者氏名：李玲

ローマ字氏名：(LI, rei)

ほか多数